

報道関係者各位

2020年1月22日 株式会社フォレストシー

全国初! 愛媛県久万高原町で「町まるごとIoT ネット」の本格運用が開始

株式会社フォレストシーの「里山通信」は、愛媛県内で最大面積を誇る久万高原町と共同で、森林を含む町内全域に LPWA 通信網「町まるごと IoT ネット」を構築。全国に先がけ、2月上旬から本格運用を開始いたします。



左：久万高原町中心部 右：ジオチャット

株式会社フォレストシー（代表取締役 時田 義明）の「里山通信」は、愛媛県 久万高原町と共同で、町内全域の LPWA 通信網「町まるごと IoT ネット」を構築。全国に先がけ、2月上旬から本格運用を開始いたします。

久万高原町は急峻な山と谷が連なる四国山地に位置する愛媛県最大面積の町で、総面積は 583.7km²と東京山手線内側の面積の約 9 倍の広さを持ちます。さらにその 90%が森林であることから、携帯電話の電波が繋がりにくい地域が点在しています。

町の基幹産業の一つである林業は全産業の中で突出して労働災害の多い業種であり、林業従事者が万一の事故の際に救助が呼べずに重症化を招きやすい事が大きな課題でした。

「里山通信」は、LPWA（Low Power Wide Area）の中でも強力な 250mW の出力をもつ独自の通信規格 GEO-WAVE を用い、他に類をみない遠距離通信能力と、中継機によるメッシュマルチホップの技術で、わずか数十機の中継機で、広い町内全域をカバーする通信網を構築します。

林業従事者に小型のウェアラブル端末「ジオチャット」を町から貸与することで、事故の際の SOS 発信、GPS による正確な位置情報の把握を行います。スマートフォンとの連携でチャットによる文字通信も可能なので、事故状況や山中の作業報告だけでなく、需要供給情報など林業のスマート化に向けたリアルタイムな情報の共有にも活用することができます。

2020年1月下旬から中継機を順次設置し、2月上旬より運用開始の予定。久万高原町は今後、防災目的の水位情報や地滑り監視、鳥獣害対策、農業 IoT、高齢者の見守り、不法投棄対策などへの活用も検討中で、「里山通信」もこれら総合的な「町まるごと IoT ネット」の整備に向けて準備を進めてまいります。

■里山通信 ウェブサイト

<https://satoyama-connect.jp/>

■本件に対するお問い合わせ先

株式会社フォレストシー

〒135-0022 東京都江東区三好 3-7-11 清澄白河フォレストビル TEL：03-5245-1511

お問い合わせフォーム：<https://satoyama-connect.jp/contact/>